

平成22年度 下條村の給与・定員管理等について

平成22年10月1日現在

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (20年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 年度の人件費率
21年度	人 4,200	千円 2,535,040	千円 299,471	千円 307,438	% 12.13	% 12.45

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

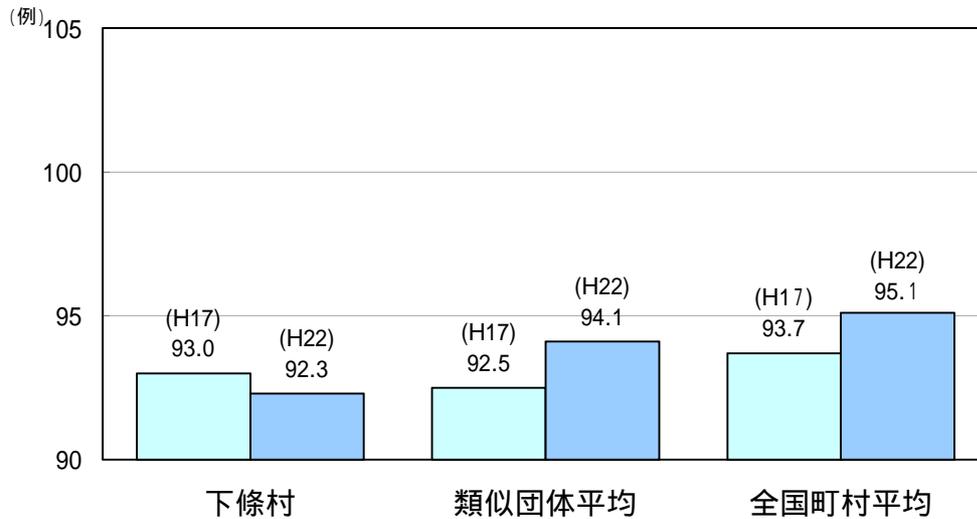
区分	職員数 A	給与費				一人当たり 給与費 B/A	類似団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
21年度	人 34	千円 119,151	千円 12,595	千円 42,825	千円 174,571	千円 5,134	千円 5,607

- (注) 1 職員手当には退職手当を含みません。
2 職員数は21年4月1日現在の人数です。

(3) 特記事項

なし

(4) ラスパイレス指数の状況（各年4月1日現在）



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（22年4月1日現在）

一般行政職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
下條村	41.8 歳	305,065 円	337,390 円	349,559 円
長野県	45.6 歳	352,827 円	418,807 円	389,151 円
国	41.9 歳	325,579 円		395,666 円
類似団体	43.3 歳	327,906 円	374,248 円	352,886 円

(注) 1 「平均給料月額」とは、22年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。

また、「平均給与月額（国ベース）」は、国家公務員の平均給与月額には時間外勤務手当、特殊勤務手当等の手当が含まれていないことから、比較のため国家公務員と同じベースで再計算したものです。

(2) 職員の初任給の状況（22年4月1日現在）

区 分		下條村	長野県	国
一般行政職	大学卒	172,200 円	172,200 円	172,200 円
	高校卒	140,100 円	140,100 円	140,100 円

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（22年4月1日現在）

区 分		経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒	264,400 円	- 円	- 円
	高校卒	- 円	- 円	321,533 円

・当該階層別職員数が3人以下となる場合は「-」表示してあります。

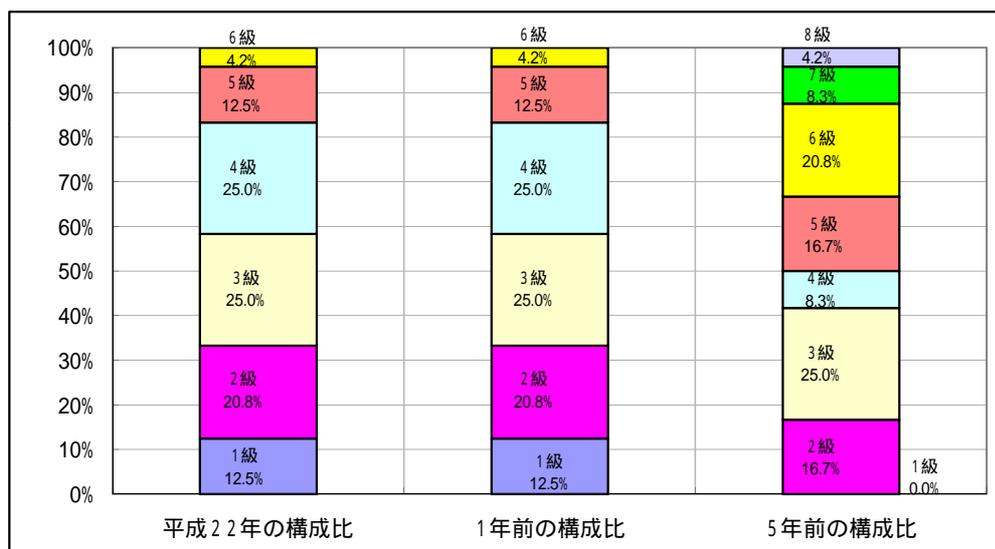
3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況(22年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比
6級	総務課長及び困難な業務を所掌する課長	1人	4.2%
5級	課長、課長補佐	3人	12.5%
4級	課長補佐、主査	6人	25.0%
3級	主任	6人	25.0%
2級	主任主事	5人	20.8%
1級	主事、主事補	3人	12.5%

(注) 1 下條村の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。



(注) 平成18年に8級制から6級制に変更しています。(旧給料表の1級及び2級並びに4級及び5級をそれぞれ統

(2) 昇給への勤務成績の反映状況

未対応

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

下 條 村	長 野 県	国
1人当たり平均支給額(21年度) 1,259 千円	1人当たり平均支給額(21年度) 1,538 千円	-
(20年度支給割合) 期末手当 2.75 月分 勤勉手当 1.40 月分 (-)月分 (-)月分	(20年度支給割合) 期末手当 2.75 月分 勤勉手当 1.40 月分 (1.60)月分 (0.75)月分	(20年度支給割合) 期末手当 2.75 月分 勤勉手当 1.40 月分 (1.60)月分 (0.75)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 15～25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 15～25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合です。

【参考】勤勉手当への勤務実績の反映状況(一般行政職)

未対応

(2) 退職手当(22年4月1日現在)

下 條 村			国		
(支給率)	自己都合	勤奨・定年	(支給率)	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	23.5 月分	30.55 月分	勤続20年	23.5 月分	30.55 月分
勤続25年	33.5 月分	41.34 月分	勤続25年	33.5 月分	41.34 月分
勤続35年	47.5 月分	59.28 月分	勤続35年	47.5 月分	59.28 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
その他の加算措置 定年前早期退職特例措置 2～20%加算			その他の加算措置 定年前早期退職特例措置 2～20%加算		
(退職時特別昇給 無)					
1人当たり平均支給額	- 千円	千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、20年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当

支給無し

(4) 特殊勤務手当(22年4月1日現在)

支給実績(21年度決算)	124 千円		
支給職員1人当たり平均支給年額(21年度決算)	17,714 円		
職員全体に占める手当支給職員の割合(21年度)	20.6 %		
手当の種類(手当数)	3		
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
税務手当	税務職員	税業務	月額3,000円
行路死人取扱手当	作業従事職員	行路死人取扱業務	1件当たり2,000円
自動車運転手当	作業従事職員	自動車運転業務	1日に運転する距離により
			日額200円～2,000円

(5) 時間外勤務手当

支給実績(21年度決算)	-	千円
職員1人当たり平均支給年額(21年度決算)	-	千円
支給実績(20年度決算)	-	千円
職員1人当たり平均支給年額(20年度決算)	-	千円

(6) その他の手当(22年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績(21年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(21年度決算)
扶養手当	扶養親族のある者に支給 配偶者 13,000円 その他親族 6,500円	同		4,891 千円	232,904 円
住居手当	職員の居住する借家で 12,000以上の家賃を 支払っている者に 最高27,000円 自宅新築・購入世帯主 5年間 月額2,500円	同		780 千円	260,000 円
通勤手当	通勤距離片道2km以上 自動車等使用者 距離により月額2,000円～	同		1007 千円	40,280 円
管理職手当	管理・監督の地位にある 職員	同		982 千円	245,500 円
宿日直手当	1回 4,200円	同		2,045 千円	85,041 円

5 特別職の報酬等の状況（22年4月1日現在）

区 分		給 料 月 額 等		
給 料	村 長	665,000 円 (715,000 円)	(参考)類似団体における最高/最低額 798,000 円 / 480,000 円	
	副 村 長	563,000 円 (613,000 円)	663,000 円 / 420,000 円	
	収 入 役	- 円 (- 円)	585,000 円 / 508,000 円	
報 酬	議 長	224,700 円 (247,000 円)	307,000 円 / 150,000 円	
	副 議 長	161,000 円 (177,000 円)	251,000 円 / 115,000 円	
	議 員	129,200 円 (142,000 円)	228,000 円 / 97,000 円	
期 末 手 当	村 長 副 村 長 収 入 役	(22年度支給割合) 3.3月分		
	議 長 副 議 員	(22年度支給割合) 3.3月分		
退 職 手 当	村 長	(算定方式) 給料月額×勤続年数×0.44	(1期の手当額) 15,100千円	(支給時期) 任期毎
	副 村 長	給料月額×勤続年数×0.26	7,650千円	任期毎
	収 入 役	-	-	-
	備 考	収入役は設置していません。		

- (注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額です。
2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額です。

6 職員数の状況

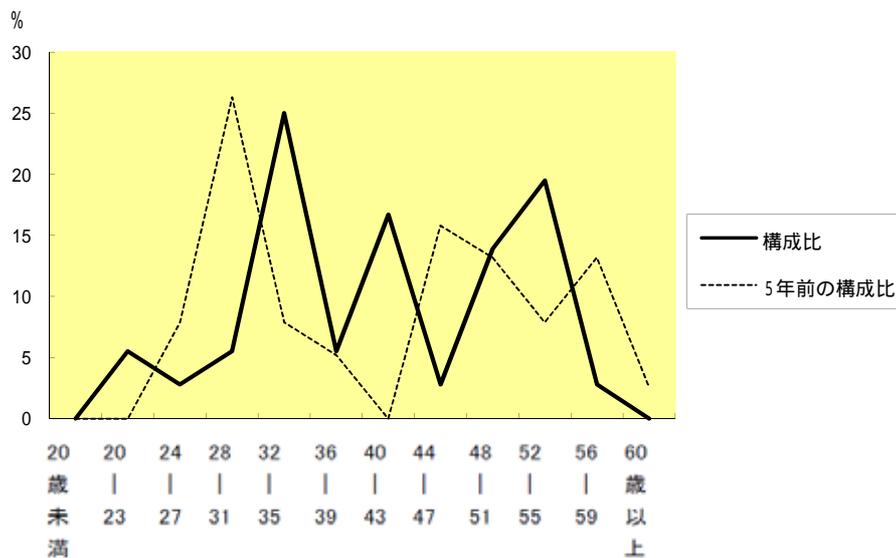
(1)部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

部 門	区 分	職 員 数		対 前 年 増 減 数	主 な 増 減 理 由
		平成20年	平成21年		
普 通 会 計 部 門	総 務	9	9		
	税 務	2	2		
	農林水産	4	4		
	土 木	2	2		
	民 生	11	11		
	衛 生	2	2		
	計	30	30		<参考> 人口1万人当たり職員数 71.4 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 162.78 人)
教育部門	4	4			
消防部門					
小 計	34	34		<参考> 人口1万人当たり職員数 80.95 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 196.43 人)	
公 営 企 業 会 計 部 門	水 道	1	1		
	小 計	1	1		
合 計		35	35		<参考> 人口1万人当たり職員数 83.33 人

- (注) 1 職員数は一般職に属する職員数です。
2 []内は、条例定数の合計です。

(2)年齢別職員構成の状況(22年4月1日現在)



区分	20歳未満	20歳 23歳	24歳 27歳	28歳 31歳	32歳 35歳	36歳 39歳	40歳 43歳	44歳 47歳	48歳 51歳	52歳 55歳	56歳 59歳	60歳 以上	計
職員数	人 0	人 2	人 1	人 2	人 9	人 2	人 6	人 1	人 5	人 7	人 1	人 0	人 36

(3)定員管理の数値目標及び進捗状況

平成17年4月1日～平成22年4月1日における定員管理の数値目標

平成17年4月1日 職員数	平成22年4月1日 職員数	純減数	純減率
人 38	人 34	人 -4	% -10.5

定員管理の数値目標の年次別進捗状況（実績）の概要

（各年4月1日現在）

部 門	区 分	17年	19年	20年	21年	22年	17年～22年	(参考)
		計画始期	2年目	3年目	4年目	5年目	計	数値目標
一般行政	職員数	33	30	29	30	31		28
	増 減		-3	-1	1	1	-2 (40%)	-5
教 育	職員数	4	4	4	4	4		4
	増 減						(%)	
消 防	職員数							
	増 減						(%)	
公 営 企 業 等 会 計	職員数	1	1	1	1	1		1
	増 減						(%)	
計	職員数	38	35	34	34	36		33
	増 減		-3	-1		1	-2 (40%)	-5

（注）1 計画期間は、17年～22年の5年間です。

2 (%)内の数値は、数値目標に対する進捗率を示します。

3 増減は、各年の欄にあっては対前年比の職員増減数を、計の欄にあっては計画1年目以降現年までの職員増減数の累計を示します。